

市民一人あたり・一世帯あたりの行政サービス経費は？

一人あたり  
68万7,927円  
一世帯あたり  
208万3,472円

市民一人あたり・一世帯あたりの市税負担は？

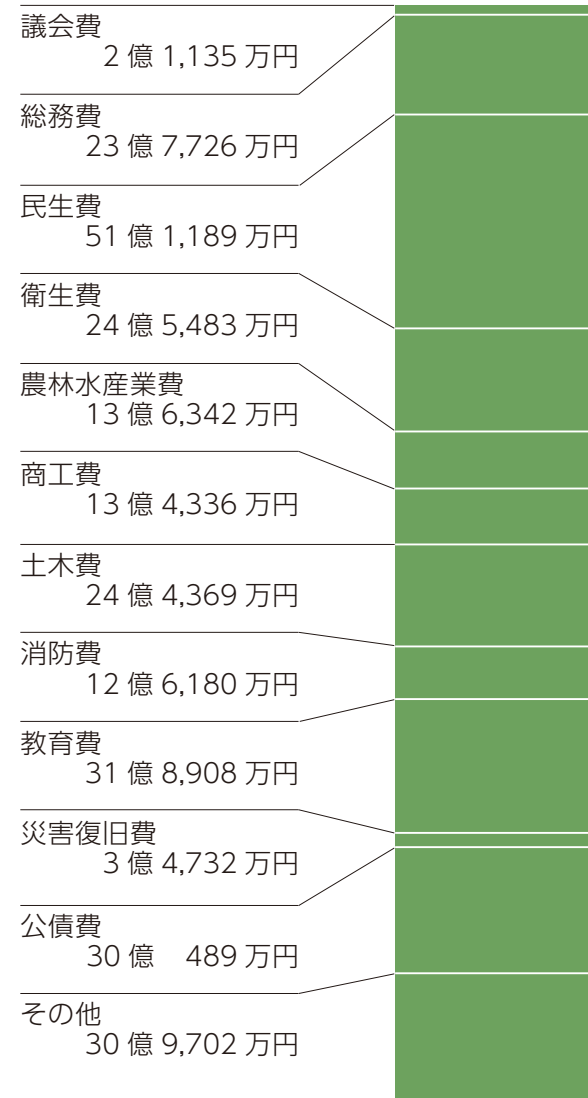
一人あたり  
9万7,457円  
一世帯あたり  
29万5,160円

※行政サービス経費・市税負担の算出は…  
各決算額÷人口および世帯数  
人口…38,094人  
世帯…12,578世帯  
(平成29年4月1日現在)

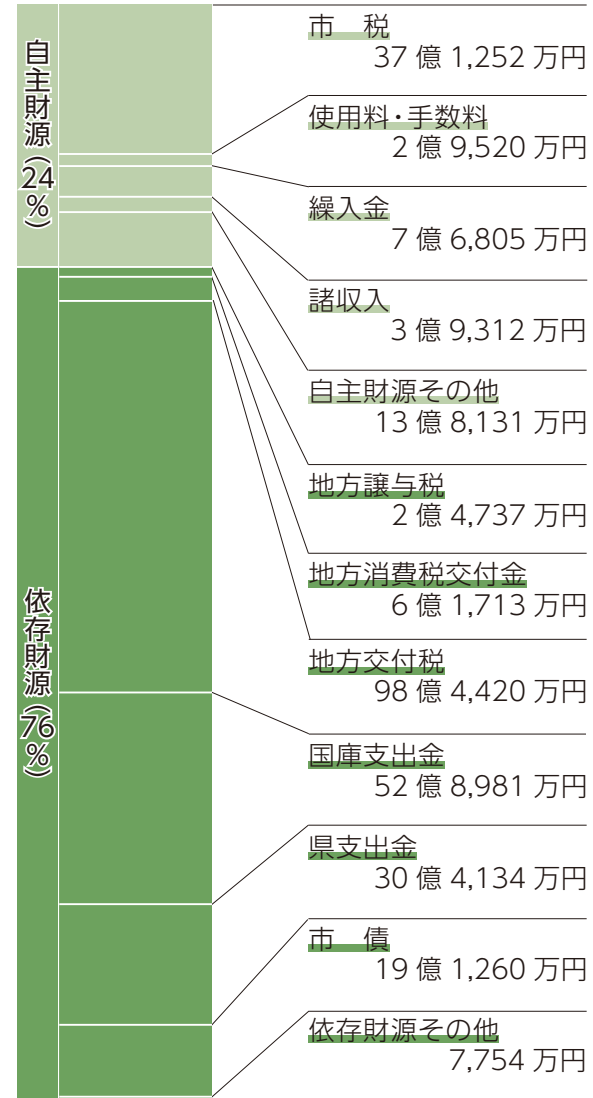


一般会計 歳出総額 262億591万円

- 議会費…議会運営のための経費。
- 総務費…行政全般の事務や庁舎などの維持管理に使われる経費。
- 民生費…高齢者や障がい者の支援、子育て支援、生活保護などに使われる経費。
- 衛生費…放射線対策、各種健診や予防接種、ごみ処理、ごみ減量化推進などに使われる経費。
- 農林水産業費…農林業の振興や農林道の整備、土地改良事業等に使われる経費。
- 商工費…商業の振興や商業金融対策、観光振興などに使われる経費。
- 土木費…道路の整備や維持補修、河川の整備、都市計画、市営住宅管理などに使われる経費。
- 消防費…郡山広域消防組合負担金や消防団運営、災害対策などに使われる経費。
- 教育費…幼稚園、小・中学校の教育、文化、スポーツの振興等に使われる経費。
- 災害復旧費…被災した公共施設を復旧する経費。
- 公債費…借入金(市債)を返済していくために使われる経費。
- その他…他の支出科目に含まれない経費。労働費、諸支出金など。



一般会計 歳入総額 275億8,019万円



- 市税…市民の皆さんから納めていただく税金。
- 繰入金…一般会計、特別会計、基金(市の預金)等の会計間で移動するお金。
- 諸収入…市の預金の利子や貸付金の元利収入などのお金。
- 自主財源その他…分担金・負担金、財産収入、寄付金、繰越金。
- 地方譲与税…所得税や自動車重量税などの国税の一部が譲与されるお金。
- 地方消費税交付金…地方消費税の一部が交付されるお金。
- 地方交付税…市の財政力に応じて国から交付されるお金。
- 国庫・県支出金…特定の用途のために国や県から交付されるお金。
- 市債…市の事業や国の施策により発行した借入金。
- 依存財源その他…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金。

平成28年度  
決算報告  
市のお金の使いみちは？

創生を目指します。

このような状況を踏まえ、さらに行財政改革、財源の確保、経費の節減等に努めながら、市民の暮らしの充実と希望に満ちた田村市の創生を目指します。

**依然として財政は硬直**

一般会計歳入決算額に占める自主財源(市が自主的に収入できる財源)の割合は23・7%と低く、地方交付税などに大きく依存しています。また、経常収支比率は90・6%、財政力指数は0・33と、依然として財政が硬直しています。

約9億円の黒字

平成28年度の一般会計の決算額は、人口減少に対処するための施策を盛り込んだ田村市地域創生総合戦略に基づき、少子化対策、定住・雇用創出などを積極的に進めてきました。

その一方で、将来の市政運営を見据えて財政構造の健全化にも取り組んだ結果、実質収支で9億1443万円の黒字(翌年度に繰り越す財源を除く)となり、健全な決算結果になりました。

**市の3つのお財布**

市では、市のお金を出し入れするために、3つのお財布を用意しています。

通常出入れするお金は「一般会計」、そして特定の事業のために使う「特別会計」「公営企業(水道事業)会計」です。

特別会計も8つに分かれていて、それぞれの目的以外では使われないことになっています。(下表参照)

市では年2回、財政状況を市民の皆さんにお知らせしています。

今回は、平成28年度各会計決算状況と29年度各会計予算の上半期執行状況をお知らせします。(執行状況は8ページに記載)

市債の状況(28年度末)	
会計名	借入残高
一般会計	255億1,220万円
農業集落排水事業	1億3,575万円
公共下水道事業	66億6,474万円
水道事業	39億8,069万円
合計	362億9,337万円

水道事業会計の決算		
区分	歳入	歳出
収益的収支(税抜き)	7億 620万円	6億 8,322万円
資本的収支(税込み)	2億 7,328万円	5億 1,527万円

※収益的収支…水道水をつくり、家庭に送り届けるために必要なお金と水道料金などの収入  
※資本的収支…水道施設の建設等に必要なお金とその財源  
※資本的収支において不足する額は、当年度分消費税・地方消費税資本的収支調整額および過年度分損益勘定留保資金で補てん。

8つの特別会計の決算					
区分	歳入	歳出	区分	歳入	歳出
国民健康保険	51億5,423万円	50億2,213万円	農業集落排水事業	2,585万円	2,585万円
介護保険	40億3,389万円	38億5,925万円	公共下水道事業	10億5,660万円	10億5,660万円
後期高齢者医療	3億5,115万円	3億5,059万円	授産場事業	5,875万円	5,875万円
滝根町観光事業	7億5,305万円	7億 657万円	診療所事業	4億3,997万円	4億3,997万円